

平成26年度当初予算の概要

総括

“住むなら！やっぱり おの”推進型予算

一般会計の予算額は、190億2千万円。「子ども・子育て、教育環境の充実」「安全・安心な未来の創造」「快適で、便利な都市基盤の整備」「市民力による地域づくりの推進」に重点を置き、“住むなら！やっぱり おの”推進型予算を編成しました。

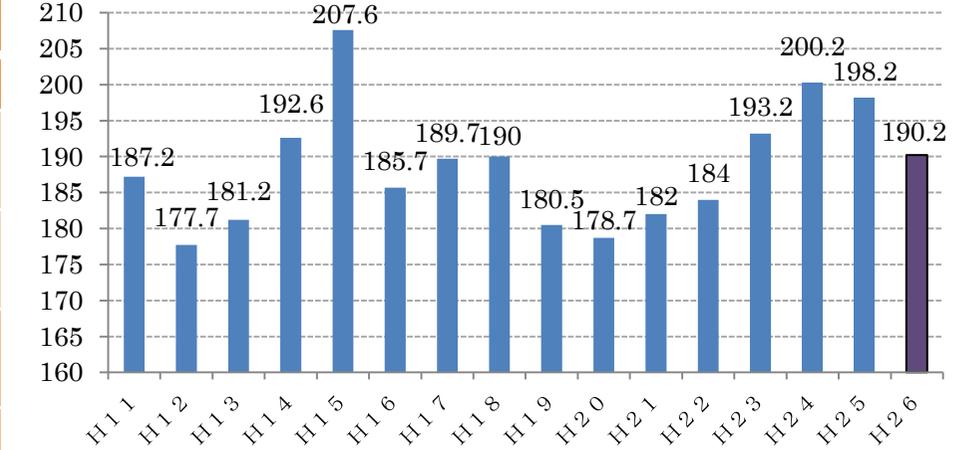
市税収入は、固定資産税などの増により、約67.5億円（対前年度比0.7%の増）を見込んでいます。

基金残高は約89億円（決算見込）を確保し、市債残高は、約194億円（決算見込）と見込んでいます。

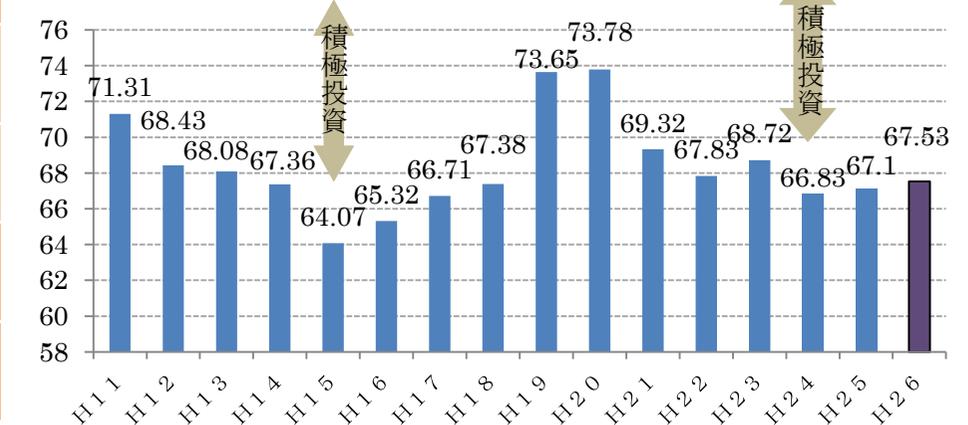
（単位：千円）

	平成26年	平成25年	増減額
			増減率
一般会計	19,020,000	19,820,000	△800,000 △4.0%
特別会計	10,135,000	9,841,000	294,000 3.0%
企業会計	6,030,200	7,470,600	△1,440,400 △19.3%
合計	35,185,200	37,131,600	△1,946,400 △5.2%

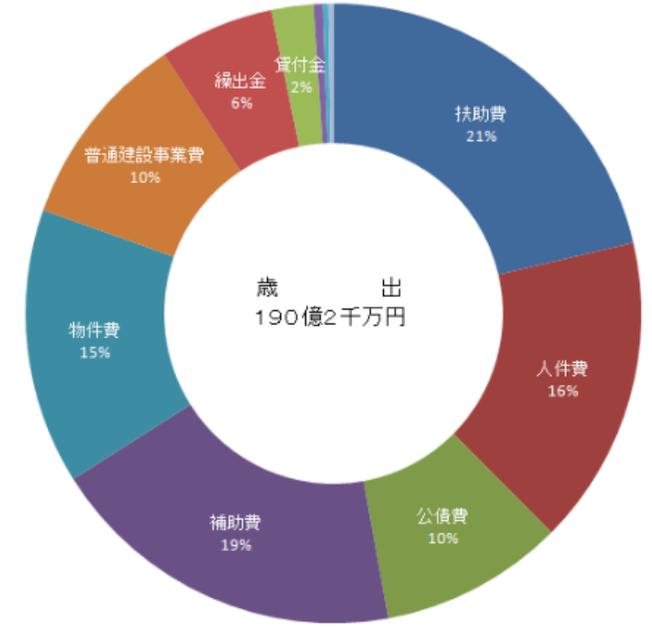
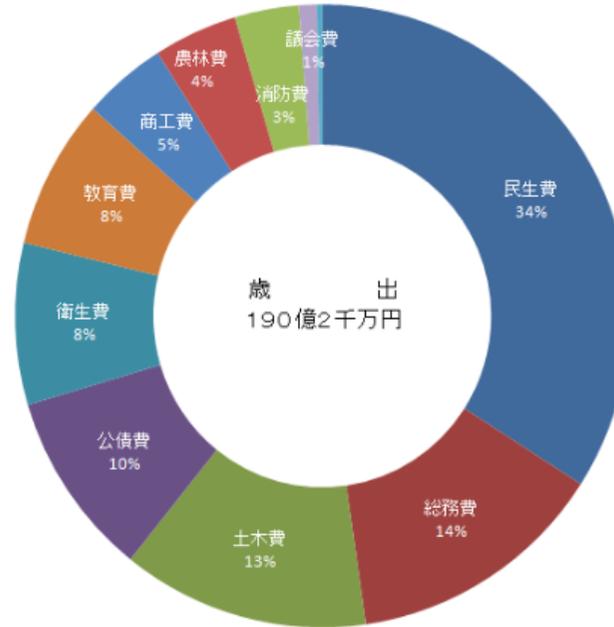
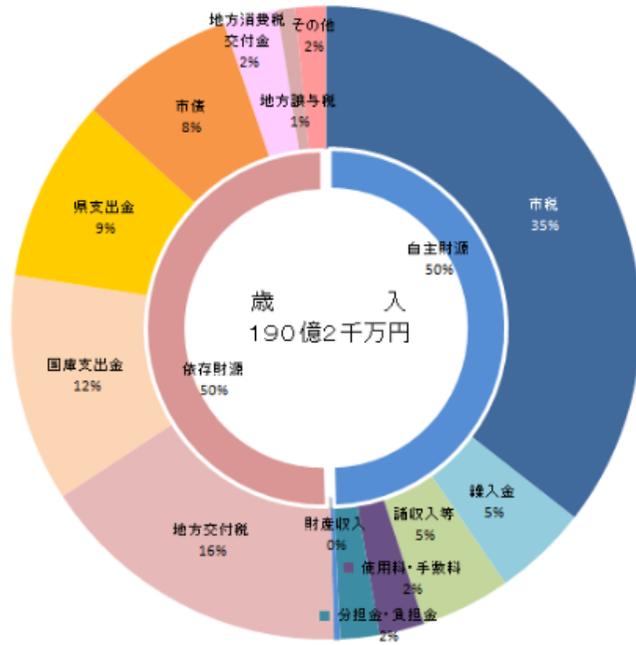
●一般会計予算額の推移（単位：億円）



●市税収入額の推移（単位：億円）



歳入・歳出予算の構成



●歳入の内訳

(千円)

	H26	構成	H25	構成
市税	6,753,181	35.5%	6,704,745	33.8%
雑収入等	878,032	4.6%	843,893	4.3%
繰入金	919,068	4.8%	705,410	3.6%
分担金・負担金	383,165	2.0%	426,069	2.1%
使用料・手数料	441,071	2.3%	436,764	2.2%
財産収入	59,761	0.3%	68,821	0.3%
自主財源	9,434,278	50%	9,185,702	46%
地方交付税	3,080,000	16.2%	3,150,000	15.9%
国庫支出金	2,208,744	11.6%	1,997,908	10.1%
県支出金	1,771,778	9.3%	1,217,890	6.2%
市債	1,522,700	8.0%	3,297,500	16.6%
地方消費税交付金	530,000	2.8%	470,000	2.4%
地方譲与税	170,000	0.9%	183,000	0.9%
その他	302,500	1.6%	318,000	1.6%
依存財源	9,585,722	50%	10,634,298	54%
合計	19,020,000		19,820,000	

●歳出(目的別)の内訳

(千円)

	H26	構成	H25	構成
民生費	6,479,585	34.0%	6,082,045	30.7%
衛生費	1,595,181	8.4%	3,646,486	18.4%
土木費	2,475,010	13.0%	2,301,245	11.6%
総務費	2,597,193	13.7%	2,358,760	11.9%
教育費	1,483,939	7.8%	1,489,143	7.5%
商工費	839,097	4.4%	887,059	4.5%
消防費	642,954	3.4%	633,640	3.2%
農林費	838,404	4.4%	326,240	1.6%
議会費	180,447	0.9%	203,220	1.0%
公債費	1,838,184	9.7%	1,842,156	9.3%
予備費	50,000	0.3%	50,000	0.3%
災害復旧費	6	0.0%	6	0.0%
合計	19,020,000		19,820,000	

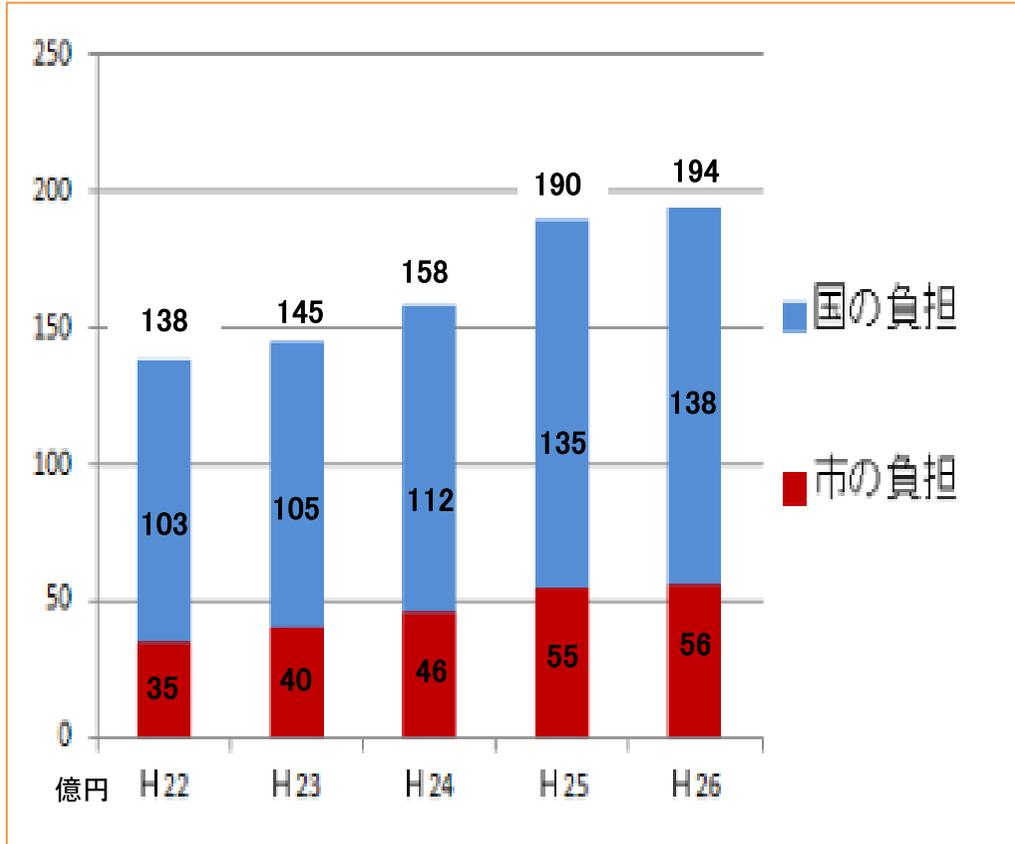
●歳出(性質別)の内訳

(千円)

	H26	構成	H25	構成
人件費	3,701,683	16.2%	3,095,438	15.6%
扶助費	4,058,166	21.3%	3,969,444	20.0%
公債費	1,838,184	9.7%	1,842,156	9.3%
補助費	3,589,264	18.9%	5,405,761	27.3%
物件費	2,737,048	14.4%	2,563,639	12.9%
普通建設事業費	1,962,018	10.3%	1,240,236	6.3%
投資及び出資金	0	0.0%	0	0.0%
繰入金	1,147,037	6.0%	1,079,464	5.5%
貸付金	420,400	2.2%	420,400	2.1%
積立金	54,213	0.3%	62,840	0.3%
維持補修費	91,981	0.5%	90,616	0.5%
災害復旧	6	0.0%	6	0.0%
その他	50,000	0.2%	50,000	0.2%
合計	19,020,000		19,820,000	

市債残高と基金残高の推移

市債（借金）の残高と市の実質負担



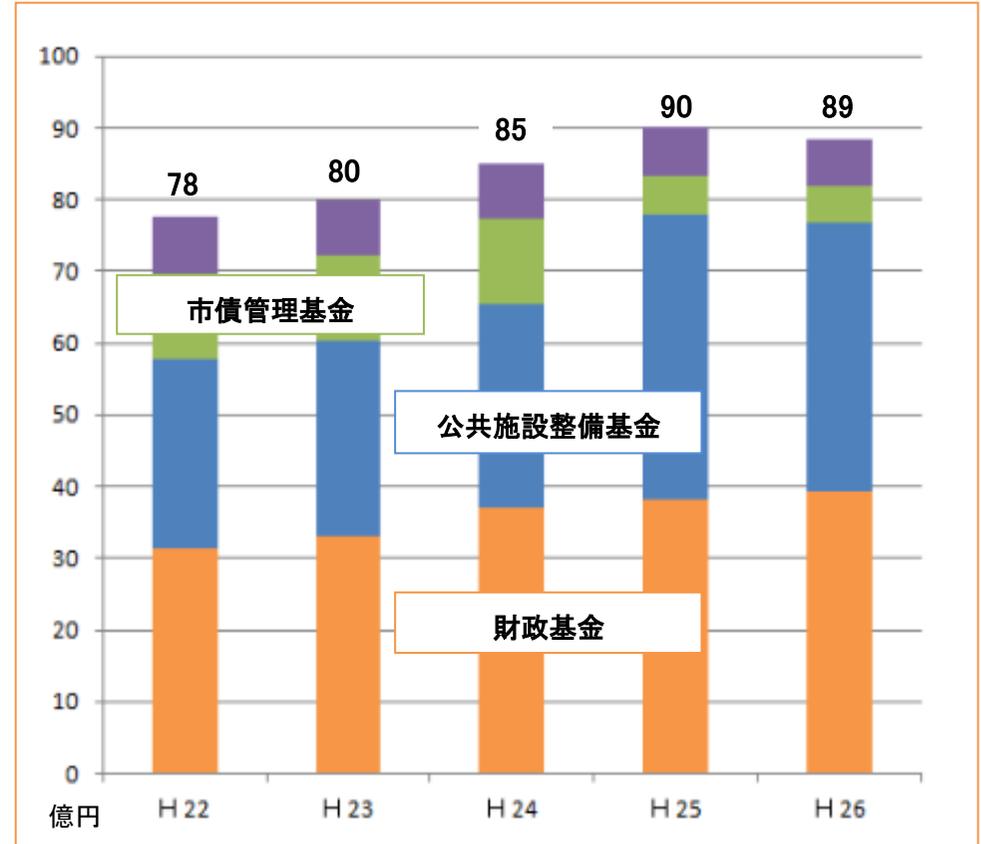
◆「未来への先行投資（北播磨総合医療センター建設や防災センターの整備、新都市中央線整備など）」により、H26年度市債（借金）の残高は約194億円となる見込みです。

しかし

◆残高のうち、後年度に地方交付税で補てんされるものが多いため、市の実質的な負担は市債残高の3割程度（約56億円）に抑制しています。

※地方交付税による補てん・・・全額補てんされるもの（臨時財政対策債）や一定割合が補てんされるものがある。

基金（預金）の残高



◆当初予算では、財政基金や公共施設整備基金の取崩を措置しています。しかし、決算時点では、歳出の抑制や事業内容の精査等により財政基金の取崩しは不要となる見込みで、預金にあたる基金残高は、約89億円を見込んでいます。

財政健全化指標の見込

(単位: %)

	2010	2011	2012	2013	2014	判断基準	
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率	13.1	12.2	11.1	9.6	9.2	25.00	35.00
将来負担比率	<small>県下の市で初のマイナス!</small> △18.9	△19.0	△12.7	11.0	23.0	350.00	—
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	18.20	30.00

(決算見込)

(決算見込)

※数値が低いほうが良好な値を示しています。判断基準の数値を超えると財政健全化計画などを作成し自主的な改善が義務づけられます。

◆市債(借金)に対する国の補てんにより、財政健全化指標は優良値を維持できる見込みです。

重点項目と主な事業

●子ども・子育て、教育環境の充実

- 保育料の更なる軽減(軽減率 20%→30%へ拡大)
- 給食センター改築設計に着手
- 中学校3年生までの医療費完全無料化(所得制限なし)
- アフタースクール1時間延長(19:00まで延長)
- 病児・病後児保育事業
- 脳科学理論に基づくハートフルチャレンジおの検定
- 各コミセンでの“寺子屋”事業 など



●安全・安心な未来の創造

- 防災センターの運営開始と防災行政無線(移動系)の配備
- 粟田橋迂回路対策の充実(北部消防拠点、安全安心パトロール)
- 拠点避難所「防災備蓄倉庫」の新設(計画4基)2年目
- 浄谷黒川丘陵地多目的広場の整備
- 北播磨総合医療センターの経営安定化支援 など



●快適で、便利な都市基盤の整備

- 明るいまちづくり推進(LED防犯灯新設・道路照明灯LED化等)
- 新都市中央線の整備
- ひまわりの丘公園「親水施設」新設整備
- 白雲谷温泉ゆぴかりリニューアル
- 神戸電鉄粟生線の維持確保対策
- 主要道路の環境整備 など



●市民力による地域づくりの推進

- うるおい交流館エクラ「市民交流ホール」オープン
- 市制60周年記念事業
- チャリティー・ハーフマラソンの開催
- 自治会役員への女性参画促進
- 小野まつりへの助成 など



※事業の詳細は別紙事業の主な内容をご参照ください。